

社会資本整備総合交付金 中間評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	社会資本整備総合交付金（戸塚南部地区都市再生整備計画事業に充てた事業に限る）	計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）
事業主体名	埼玉県川口市	中間評価時期	平成28年3月

I 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況	
(1) 当初計画どおり実施した事業	① 石神西立野特定土地区画整理事業、安行藤八特定土地区画整理事業 ② 戸塚南部特定土地区画整理事業、戸塚東部特定土地区画整理事業
(2) 当初計画から変更した事業	① 公園（赤山歴史自然公園整備）
a 変更内容	a 赤山歴史自然公園整備の追加（H24.3）
b 変更理由	b 神根地区、安行地区で公園が少ない状況から、公園の整備を進める必要が生じたため
c 評価指標への影響	c 数値指標（公園緑地面積）の追加（H24.3）
	②
	a
	b
	c

II 事業効果の発現状況、評価指標の最終目標値の実現状況

評価指標		当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	中間評価時現況値 (H27年度末見込み)	進捗状況
指標1	戸塚南部地区内建築着工件数(件)	1,485	2,300	2,409	平成27年度に達成の見込み
指標2	戸塚安行駅利用者数(人/日)	5,800	6,300	6,795	達成
指標3	公園緑地面積の増加(ha)	29.3	32.8	32.0	未達成
事業効果の発現状況に関する総合所見	<p>指標1 土地区画整理事業による地権者の土地活用や民間開発により住宅供給等が直接的な要因であった。また、道路、公園等の整備による地区の魅力向上も間接的な効果を及ぼしている。</p> <p>指標2 土地区画整理事業による市街化の促進や民間開発等の住宅供給が直接的要因であった。また、アクセス条件、交通安全性、歩行者快適性が向上したため、地区周辺の住民の利用も増加させたと考えられる。</p> <p>指標3 用地取得の進捗と地域住民との意見交換会により、一定の効果を見せているが、一部地権者との交渉難航から期間内での目標値の達成は難しく、一年以内での目標値達成も難しい。</p>				

III 今後の方針

・平成28年度以降は、川口市社会資本総合整備計画にて都市再生整備計画事業から都市公園事業及び都市再生区画整理事業に移行して当該事業を実施していく。